



“セブン-イレブン” ブランドが初のランクイン 「Best Japan Brands 2020」 18位に

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、株式会社インターブランドジャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 並木 将仁）が発表した「Best Japan Brands 2020」において 18 位にランクインいたしました。



(右)株式会社インターブランドジャパン 代表取締役社長 兼 CEO 並木 将仁様

(左)株式会社セブン&アイ・ホールディングス 執行役員

コーポレートコミュニケーション本部 広報センター シニアオフィサー 松本 稔

【株式会社インターブランドジャパンからの評価コメント】

日本のコンビニ市場での売上は第一位。特に、高品質なプライベートブランドが顧客の高い評価を得ています。また、他ブランドに比べて、ヘビーユーザーが多く存在し、ブランドへのロイヤリティが高いのも特徴。従業員や店舗オーナーに「近くて便利」というブランドのスローガンが浸透しており、「中食」やネットプリントサービスなど、そのスローガンを具現化する商品やサービスに果敢に取り組んでいる姿勢もブランドの価値に寄与しています。

ブランド価値の評価にはインターブランド社が 2000 年より毎年発表するグローバルブランド価値ランキング「Best Global Brands」と共通の評価方法 (Brand ValuationTM) を用いており、日本発のブランドを世界基準の指標で評価します。具体的には、財務分析、ブランドの役割分析、ブランドの強度分析という 3 つの枠組みから、企業が生み出す利益の将来予測、将来の経済的利益のうちブランド貢献分、ブランドによる利益の将来の確実性を評価し、金額換算しています。

セブン - イレブンは、質を重視した商品・サービス、店舗づくりを通じて「近くて便利」を実現し、これからもお客様、加盟店様、お取引先様、地域社会の皆様と共に社会の発展に貢献する流通サービスを目指してまいります。

以上